

■地域名 茅野市 霧ヶ峰地区

■特徴的な被害対策 野生鳥獣との共存に向けた生息環境等の整備モデル地域における防鹿柵の設置

1 地域の概要

集落戸数	うち農家	加害鳥獣	被害農作物等	備考

2 実施した被害対策の内容

区分	実施に当たって工夫等したポイント	
これまでの経過	10年ほど前よりニホンジカの生息数が増加してくるとともに、高山植物の被食や湿原内の踏み荒らしなどが問題となってきた。 地区内での広域捕獲や地元との協同で電気柵の設置を行ってきたが、特に被害が顕著である八島ヶ原湿原(国の天然記念物)について、防鹿柵で全周を囲って保護することが求められてきた。	
被害対策	◇生息環境対策	
	◇防除対策	昨年、林野庁の「野生鳥獣との共存に向けた生息環境等の整備事業」のモデル地域となり、平成22・23年度の2カ年で防鹿柵を設置することとした。
	◇捕獲対策	平成22年3月に下諏訪町東俣で広域捕獲を実施
効果	被害状況	
	その他特記事項	現在は、全周のうち、2.2kmの設置のため、効果の確認は、24年度以降となる。
農家の方からのコメント		

3 これからの課題

失敗した事柄	
これからの課題	

4 成功に至ったポイント

野生鳥獣被害対策支援チーム	7日間、延べ313人の職員、ボランティアの参加によって設置することが出来、地域との協働、そしてニホンジカの食性被害に対する啓発という点で有意義な取り組みであった。
---------------	---

5 問合せ先

諏訪地区野生鳥獣被害対策チーム

電話:0266-57-2919 E-mail:suwachi-rimmu@pref.nagano.lg.jp